

もの言う牧師のエッセー 第58話

「美魔女」

洋の東西を問わず“美魔女”が大ブームだ。美魔女とは「魔法をかけているかの様に美しい」才色兼備の35歳以上の女性を指す。女性週刊誌「女性セブン」の40代の読者が選んだトップ3は杉本彩（44）、黒木瞳（52）大地真央（56）だったらしいが、つい先頃も藤原紀香（41）がセミヌード写真集を出したり、草刈民代（47）もこれまた第2弾となるヌード集発売など話題に事欠かない。

また、現在進行中の衆院選では「日本維新の会」から茨城1区で出馬した、昨年の「国民的美魔女コンテスト」で20人のファイナリストになった元プロスノーボーダーの主婦で4人の子持ちの海老沢由紀（38）が“橋下ベイビーズ”で奮闘中だ。いっぽう海外でもジェニファー・ロペス（43）がワールドツアー中におっぱいポロリのハプニングや、ジェーン・フォンダ（74）がカンヌ映画祭のレッドカーペットでセクシードレス披露と元気がいい。

興味深いのはこれら美魔女を最も支持するのが“熟女好きスケベ男”よりも、同姓の女性達である点だ。女性はいつまでも美しくパワフルであるのは喜ばしいことということか。だが聖書にはとんでもない“元祖”美魔女がいる。

「信仰によって、サラも、すでにその年を過ぎた身であるのに、子を宿す力を与えられました。彼女は約束してくださった方を真実な方と考えたからです。」

ヘブル人への手紙 11章 11節

に出てくる4000年前の人物アブラハムの妻サラがそれだ。高齢の人妻でありながらナンパされるほどに美しく、90歳で子供を産んだというほどの凄い女性だ。問題は不妊である彼女が、神を信じる信仰によって祝福されたことだ。信じた彼女は子供を得て祝福され、21世紀になった今も、欧米では多くの女性が彼女の名を持つ。神を信じる女性は美しい。

2012-12-13

国民的“美魔女”コンテスト 開催決定!!



美しい40代がニッポンをアゲます!